

校長室だより

岸和田市立浜小学校

平成28年 5号

暑い熱い夏でした



今年の夏は、例年を上回る暑さでした。8月は31日中23日が猛暑日（最高気温が35℃を超える日）で、観測史上最多だったそうです。台風は北海道に3つも上陸し、地球の気候はどうなるのだろうと不安になったりもしました。

でも、オリンピックでの日本のメダルも史上最多！そういう意味でも熱い夏でした。メダルを取った人だけががんばった人ではないし、日本人だけががんばったわけでもないですが、応援している私たちはたくさんの元気をもらいました。そして7日からパラリンピックが始まります。選手たちのがんばりが楽しみです。

そんな夏休みも終わり、学校に子どもたちの元気な声に戻ってきました。夏休みのしーんとした学校が、学校らしくよみがえったようです。「おかえりなさい」と始業式で子どもたちを迎えました。

子どもたちは、それぞれのご家庭で普段と違う経験をし、心も体もひとまわり大きくなったように感じます。

早く学校での生活のペースを取り戻し、夏休み中に充電したエネルギーを発揮しましょう。子どもたちが生活のリズムを取り戻すには、ご家庭の協力が必要です。ご協力、よろしくお願いします。

子どもたちはきっと、久しぶりの学校での様子をおうちで話し、夏休みの様子を学校で話します。しっかり聴いてあげたいですね。

私の友人のことばです。

「子どもはご飯を一人で食べさせたら不良になる」

かなり極端な意見ですが、彼女は、塾とか仕事とかで時間が揃えられなくて一緒に食べられないときも、子どもが食事しているテーブルにいっしょにつくことが大事だと言います。

反抗期の時期は、前に座っていても何も話さないこともあったそうですが、毎日見ていると何かあった時は食べている様子でわかると・・・

確かに、子どもがひとりぼっちの食事に慣れるのは寂しいですね。忙しい毎日の中で難しいことかもしれませんが、心がけてみませんか。

夏休みの平和登校日に、平和について考える時間を持ちました。

これは、図書室にある「茶畑のジャヤ」という本の一部です。これだけを読んでも何のお話かわからないですが、後半の太字の部分はそれだけでも意味のある文章です。

たくさん本を読んで、いっぱい考えて、人の気持ちが想像できる人になってほしいです。そんな人が増えると世界は平和になるのではないのでしょうか。考えることがたくさん詰まった、でも読みやすい本です。高学年の人はぜひ読んでみてください。

「シュー、戦争は人殺しなんだ。内線は、同じ国民の殺しあいだよ。」

「でも、タミル人が独立した国を持ちたいと思ったのは、まちがいじゃないでしょ？」

「人を殺したら、なんにもならない。」

「どうしたらいいの？反対されたら、どうしたらいいの？」

「考えるんだよ。かしこく、考えるんだよ。どんなやり方があるか、一生懸命考えるんだよ。人間なんだから、考えないと。」

「考えてもわからなかったら、どうするの？」

「わかるまで考える。勉強してかしこくなったら、たくさん考えられる。知識や経験がたくさんあれば、想像する力もついてくる。人の気持ちが想像できる。物事の先が想像できる。たくさん想像できる人は人を殺さない。悲しみが想像できるから。」

「はまっこ」 発見！

校長室前に、ホワイトボードが出現しました。

先生たちが、みんなの「はまっこ」行動を発見したら、付箋に書いて貼っていきます。まだ、少ししか貼られていませんが、これからみんなの「はまっこ」が増えていくのを楽しみにしています。

保護者のみなさまも学校に来られる機会がありましたら、是非ご覧ください。